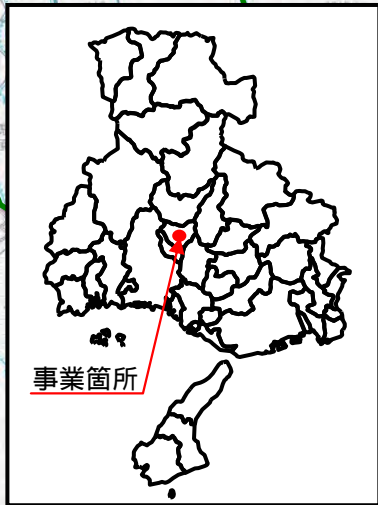


投資事業評価調書（新規）

部課室名	県土整備部土木局 地域道路室	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	地域道路室長 高井 嘉親 (主幹兼国道係長 濱 浩二)	内線	4362 (4374)
------	-------------------	---------------------	--------------------------------	----	----------------

事業種目	道路	事業名	事業区間	総事業費	4.5億円
		道路改築事業 一般国道312号	神崎郡市川町 屋形～浅野	内用地補償費	1.3億円
所在地		着工予定年度		完成予定年度	
神崎郡市川町屋形～浅野		H22		H24	
事業目的			事業内容		
<ul style="list-style-type: none"> 一般国道312号は、京都府宮津市を起点とし豊岡市、朝来市を経て姫路市に至る約139kmの主要幹線道路であり、但馬地域と中播磨地域を相互に連絡する県南北軸を形成する路線である。 当該区間は、緊急輸送道路に指定され、交通量約10千台であるものの未改良となっており、幅員狭小及び線形不良による車両の離合困難等、走行性が低下している状況である。 当該区間を改築し、中播磨地域の活性化に寄与するとともに緊急時における播但連絡道路の代替路線としての機能強化を図り、安全で安心な交通を確保する。 			道路改築（現道拡幅）L=1,200m 【道路区分】：第3種第3級 【計画幅員】：6.0(7.50)m(2車線) 【計画交通量】：6,500台/日(H42推計) 【現況交通量】：9,841台/日(H19実測) 【負担割合】：国5.5/10、県4.5/10		
評価視点		評価結果の説明			
(1)必要性 安全・安心を確保する道づくり		<ul style="list-style-type: none"> 当該区間は、国道312号和田山～姫路間で唯一の未改良区間であり、通過する車両の走行性低下及び大型車のすれ違いが困難な状況のため、未改良区間の解消を図り車両の安全で安心な交通を確保する。 当路線は、播但連絡道路に平行しており、交通事故や冬期の積雪、災害等による通行止時の迂回路となっている。十分な車道幅員を確保し、災害に強い道路とする。 			
くらしと交流を支える道づくり		<ul style="list-style-type: none"> 市川町と隣接する神崎町、福崎町の中心部間を連絡し県内の地域間交流、連携の促進に寄与する。また、高速道六基幹軸を形成する播但連絡道路へのアクセス向上が図られる。 			
県土の活用を進める道づくり		<ul style="list-style-type: none"> 当路線は、市川町総合計画において「広域幹線道路網の整備」として位置付けられており、地域の骨格を形成する道路である。 			
(2)有効性・効率性 有効性		<ul style="list-style-type: none"> 費用便益比 $B/C = 1.2$ 主要幹線道路の機能向上による走行時間の短縮を図り中播磨地域の経済、地域振興に寄与する。 			
代替性		<ul style="list-style-type: none"> 当該区間は、市川に面した線形であるため河川側への拡幅は困難であるが、播但連絡道路側の余地を有効利用した現道拡幅が最適なルートである。 			
効率性 (事業執行環境)		<ul style="list-style-type: none"> 「国道312号及び播但連絡道路建設促進期成同盟会」から早期整備の要望がなされている。 地元説明や用地取得に対する市川町の協力体制等、円滑な事業執行環境が整っている。 			
(3)環境適合性		<ul style="list-style-type: none"> 車道を2車線確保することにより、自動車走行速度が向上しCO2排出量の低減など地域の環境改善が期待できる。 			
(4)優先性		<ul style="list-style-type: none"> 緊急輸送道路の強化、中播磨地域の交流促進に向けて早期に事業着手する必要がある。 兵庫県の社会基盤整備プログラムにおいて前期(H20～H25)着手完了事業として位置付けており、県ホームページ等により公表している。 			

一般国道312号 浅野拡幅位置図



姫路市

一般国道312号 浅野拡幅(H22 ~ H24)
 L=1,200m W=6.0(7.5)m 全体C=450百万円

福崎町

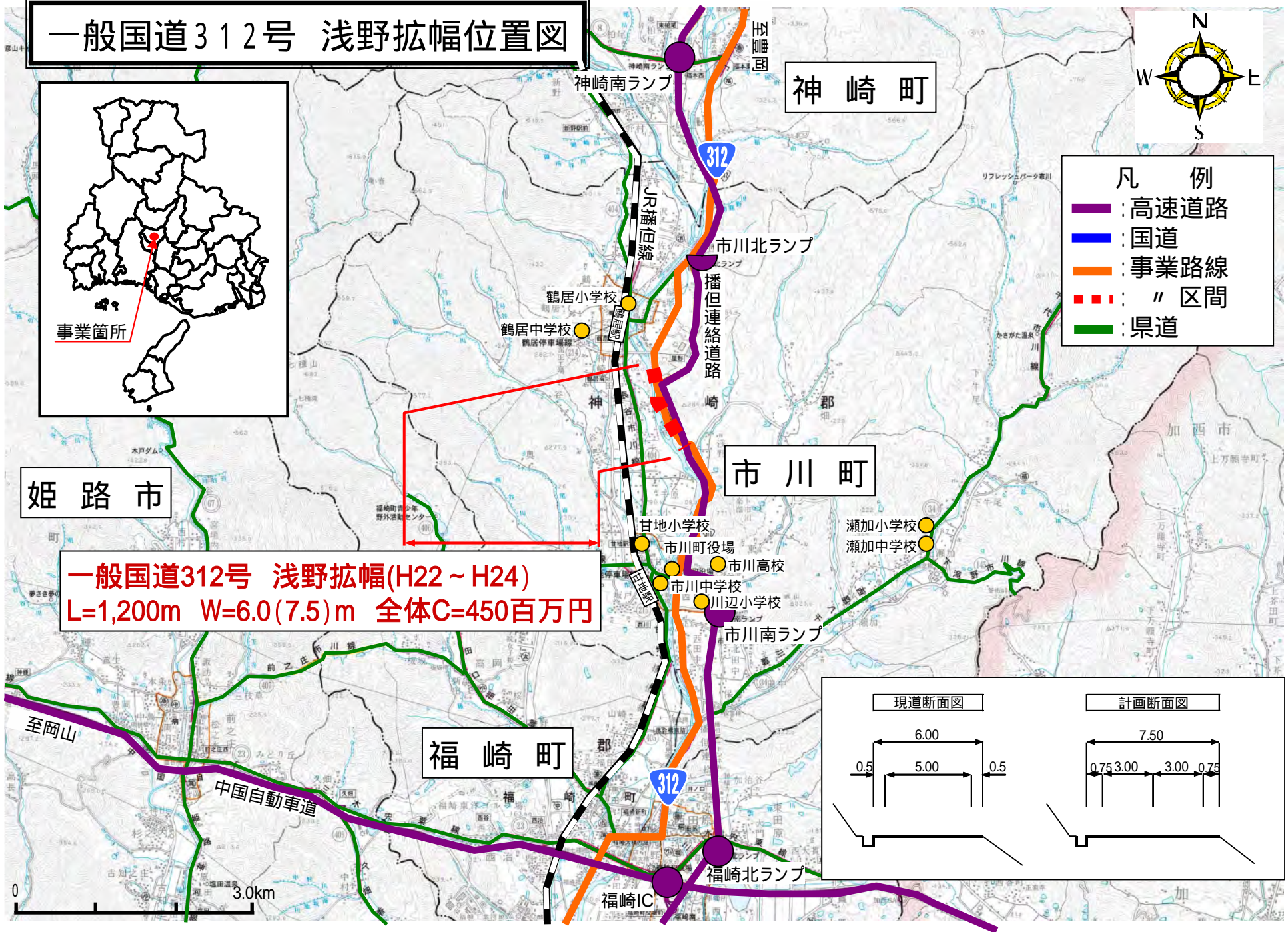
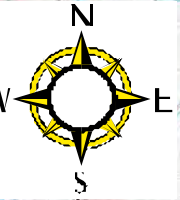
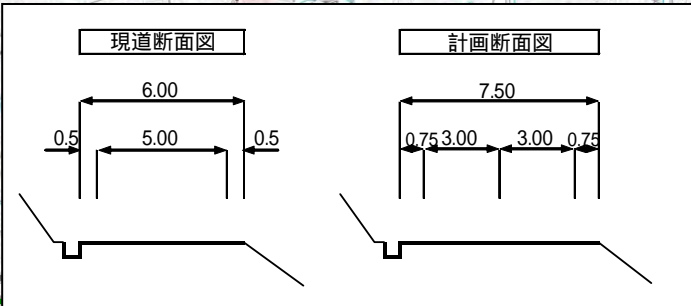
神崎町

市川町

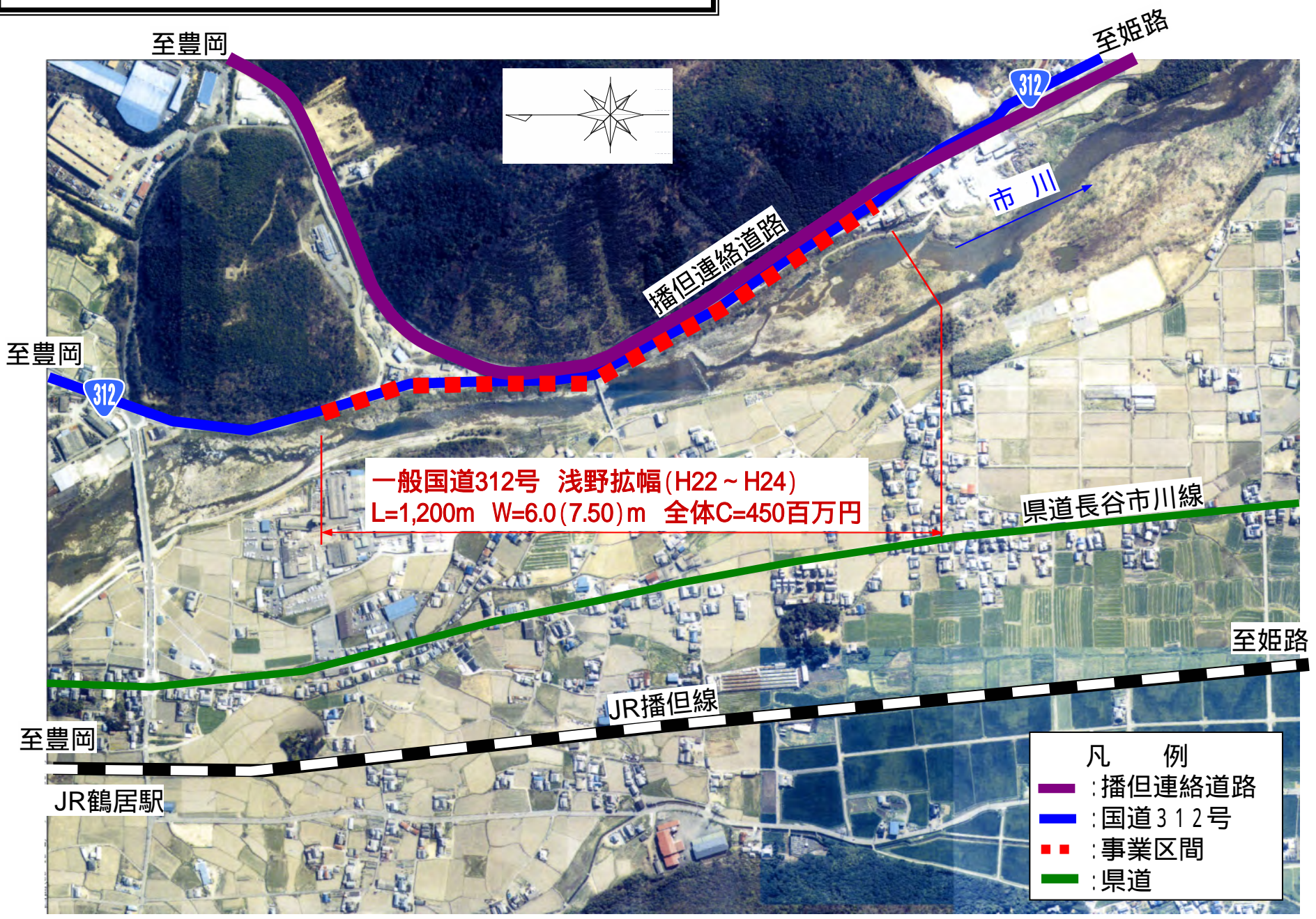
福崎北ランプ

凡 例

- : 高速道路
- : 国道
- : 事業路線
- - - : " 区間
- : 県道



一般国道312号 浅野拡幅 道路改築事業



現道状況

車両の離合時は路肩を走行

播但連絡道路



大型車の走行状況



(現道における課題)

市川町屋形～浅野間の国道312号は、和田山～姫路間で唯一の未改良区間。

当区間は、緊急輸送道路に指定されているものの交通量が約9,800台/日(うち大型車1,300台/日)あり車両が離合する際、路肩を走行し危険な状況である。

国道312号は、災害や交通事故、冬期の積雪時に播但連絡道路を通行止した時に迂回路として使用される路線である。(市川南ランプ～神崎南間の通行止め回数:26回(過去5年))

新規事業

当回事業

一般国道312号 浅野拡幅 事業スケジュール

工種	年度											
	H22				H23				H24			
調査・設計	■											
用地					■							
道路改良					■				■			

B / C根拠

便益(B)の項目

事業	B(便益)	算出方法
道路	走行時間短縮便益 目的地までにかかる時間が短くなることによる便益	整備無し of 走行時間費用 - 整備有りの走行時間費用 走行時間費用: (交通量 × 走行時間) × 時間価値原単位 × 365日
	走行経費減少便益 交通の流れがスムーズになり燃費などが向上することによる便益	整備無し of 走行経費 - 整備有りの走行経費 走行経費: (交通量 × 距離) × 走行経費原単位 × 365日
	交通事故減少便益 交通事故が減少することによる便益	整備無し of 事故損失額 - 整備有りの事故損失額 事故損失額: [交通量 × 距離 × 交差点以外の事故損失原単位 + 交通量 × 主要交差点数 × 交差点部事故損失原単位]

費用便益比(B / C)算出根拠

事業	事業名	B(便益)		C(費用)			B / C
		便益額 (百万円)	代表的な効果	総費用 (百万円)	事業費 (百万円)	維持管理費 (百万円)	
道路	一般国道312号 浅野拡幅	走行時間短縮便益	515	456	399	57	1.2
		走行経費減少便益	23				
		交通事故減少便益	0				
		計	538				